

## 子どもの体にやさしいおやつを

6月12日、つどいの広場で手づくりおやつ教室が開催され、子を持つお母さん約10人が参加しました。これは、子育てボランティア団体「みんなで子育てドロップス」が、体にやさしいおやつを学ぼうと計画。同団体の田中美帆さん（大井町）が、卵やバターではなく、植物の樹脂から作られるシロップや油を使って作るクッキーを紹介。植物性の糖分は、体にゆっくり吸収されて消化する働きがあるなどの説明を受け、参加者は熱心に取り組みました。



▲どんなクッキーができるのか興味津々の子どもたち

## 水道水はどこからくるの



▲県の担当者から説明を受ける児童たち

6月11日、中野方小学校4年生11人が、市出前講座施設見学を利用し、「水道水はどこから」をテーマに中野方ダムを見学しました。

同町では平成17年度にダムが完成し、現在ではほとんどの地区で水道水が利用できるようになっています。この日は、管理をしている県の担当職員が説明を行い、児童らは「ダムの水量はプールの何杯分ですか」など、質問しながら熱心に話を聞いていました。

## 田んぼで手植えを体験

6月16日、(株)名古屋青年会議所の会員とその家族約120人が、上矢作町木の実地内で田植え体験を行いました。この事業は、農作業を身をもって体験することで、食料の重要性を知ってもらう食育と、都市住民と地域住民との交流を目的に行われました。

同町で実施するのは今回が2回目で、この日は4,000平方メートルの田んぼに、手で苗を植え付ける「手植え」を体験。作業終了後には、モンゴル村のお風呂で汗を流し、バーベキューを楽しみました。



▲慣れない田んぼで手植え作業をする参加者ら

## 中野方川でアマゴの放流



▲アマゴの放流を行う北中学校の生徒たち

6月14日、恵那北中学校1年生45人が、校舎前の中野方川でアマゴの放流を行いました。これは、市内に関西電力(株)の大井ダムと笠置ダムがあり、同社の環境月間行事として、地域住民にダムを親しんでもらいたいと2年に一度行われています。この日はアマゴ約1600匹を放流し、1年生の柘植凌くんは「一匹一匹大きく育ててほしい」、池戸亮平くんは「放流を通して命の大切さを感じた」と話し、元気に泳ぐアマゴを見守っていました。

## 自己の健康と福祉を見直す

6月3日、まきがね公園体育館および多目的広場で、健康・福祉祭2007が開催され、市内外から4500人が来場しました。開会式では、可知市長が「自分の健康と福祉を見つめ直し、活力ある元気なまちをつくりたい」とあいさつ。また本年度80歳になる方で、自分の歯が20本以上ある「8020表彰」に35人の方が受賞されました。会場では、血糖値や脳年齢などの各種健康測定をはじめ、介護予防や食生活改善のコーナーもあり、多くの人でにぎわいました。



▲「8020表彰」で健康な歯を表彰された受賞者の皆さん

## 笠置山の大自然を満喫



▲笠置山に流れる川を渡る参加者ら

5月27日、市観光協会笠置支部主催（協賛 社会福祉協議会笠置支部、笠置公民館）による笠置山なんじゃもんじゃウォーキングが行われました。参加者の中には愛知県からの参加もあり、総勢92人がウォーキングを楽しみました。

この日は天候にも恵まれ、タオルを片手に汗をぬぐいながらのウォーキングとなりました。途中、案内人の赤尾さんによるガイドもあり、参加者らは笠置山の自然を大いに満喫しました。

## 繁栄した岩村の町並み学ぶ

6月10日、岩村公民館で城下町ホットいわむら・歴史掘りおこし委員会が、「繁栄した岩村の町並み」勉強会を開催し、約200人が参加しました。

同委員会では、聞き取りなどにより大正期を中心とした町並み図を作成。伝統的建造物群保存地区の形成過程を表す資料として、老人クラブと共催で勉強会を開催し、当時の町の様子や風物などを語り合いました。また図面は、総合学習に活用できるように岩邑中学校へ贈呈されました。



▲岩村の町並みなどについて学ぶ皆さん

## 世代を超えた交流を楽しむ



▲児童とボールを使ったゲームで楽しむ参加者

6月8日、武並コミュニティセンターで「おしゃべり会」が開催されました。これは、武並町に住む75歳以上の方を対象に毎年行っており、今回は73人が参加しました。市安心サポートセンター職員から介護予防の講話と健康体操を行った後、武並小学校5年生44人による合唱とリコーダー演奏が披露され、大きな拍手が贈られました。また児童と一緒に、音楽に合わせてボールを回すゲームや、〇×クイズなどを行い、交流のひとときを楽しみました。



『諸国旅めぐり—名所・名物・名産品—』

中山道広重美術館  
企画展覧会

■会期  
7/20(金)～9/2(日)

■入場料 ▷大人=500円  
(団体400円) ▷小・中・高  
校生=無料

毎週月曜日(祝日を除く)、  
祝日の翌日(土日・祝日を除く)休館。

※7/17(火)～19(木)まで展示替  
えのため休館



歌川広重  
「国尽張交図会 東山道八カ国  
近江、美濃、飛騨、信濃」

大判錦絵揃物の内  
嘉永5年(1852年)

この夏、美術館で日本全国一周の旅気分を味わってみませんか。本展では、江戸時代の旅の指南書や、名所のガイドブックである名所図会などの版本と、誰もが知っている日本各地の名所、名物、名産品が描かれた浮世絵を展示します。

図版は歌川広重「国尽張交図会 東山道八カ国 近江、美濃、飛騨、信濃」。各国の名所、名物、土地にまつわる伝説を集めて1枚の絵に仕立てたものです。名所絵の巨匠・歌川広重ならではの組み合わせの面白さが見どころとなっています。

またこの展覧会では、小中高生の入場料を無料としました。この機会にぜひ、気軽にお立ち寄りください。

『こどもフェスタ』ボランティア募集

市では夏休みの子ども向けイベントとして「こどもフェスタ2007」を今年も開催します。

これはアートや科学、遊びなどの体験を通して、ものづくりの心、科学する心を育てようとするイベントです。

そこで、当日の運営や各ブースでの補助や託児などのボランティアを募集しています。

詳細については恵那文化センターまでお気軽にお問い合わせください。



◀ 昨年のこどもフェスタの様子

□とき 8月18日(土)・19日(日)午前9時～午後4時(準備・後片付けの時間を含む) 両日、どちらか1日、午前または午後の半日でも可

□ところ 恵那文化センター

□内容 こどもフェスタ中の各ブース(簡単な科学実験、手芸、工作ほか)の運営の補助や幼児向けコーナーでの子どもの遊び相手など

□参加方法 恵那文化センターに直接お申し込みください

□締め切り 7月20日(金)(申込日を過ぎた場合でも恵那文化センターへご相談ください)

□その他 1日参加される場合は、傷害保険に加入し、軽食を準備します。また希望者にはボランティア証明書を発行します

□申し込み・問い合わせ 恵那文化センター ☎0573-25-5121 ☎0573-26-3524 ✉bunkacenter@city.ena.gifu.jp (担当 古川・柄澤)

田んぼが先生、まもろ米教室

6月20日、土地改良区が主催するまもろ米教室が三郷町の水田で開かれ、地元の小学校4～6年生の児童19人が参加しました。同教室では、農薬や化学肥料を使わない環境にやさしい不耕起栽培の田と、農薬を使っている田とでは、生き物の生息がどのように違うのかを調べました。

6年生の森岡京一郎くんは「薬を使っている田んぼに比べ、不耕起田は予想以上にたくさんの生き物がいて驚いた」と土の違いを肌で感じていました。



▲田の泥をすくって調査する児童たち

お手製のカップでコーヒーを



▲焼き上がりを想像しながら慎重に形を整える参加者

6月17日、山岡陶業文化センターでコーヒーカップ作りが行われ、市内から親子連れなど23人が参加しました。今回は山岡白土を使用し、同センターの木塚・寺門講師の指導により、型紙を使った手法と手びねりによる手法を選択。参加した佐野セツ子さん(岩村町)は「大好きなコーヒーを、自分で作ったカップで飲むのが今から楽しみです」と、焼き上がりを心待ちに、模様や柄を描きながらペアのカップを丁寧に作り上げました。

大井町が防犯モデル地域に

地域の防犯活動に取り組む「大井町地域防犯パトロール隊」が、警察庁からモデル地区として「地域安全ステーション事業」に選定され、6月18日、同隊の本部が置かれる中公民館前で看板設置式が行われました。隊員は、大井町まちづくり協議会の組織約400人で、青色回転灯を付けた車両によるパトロール活動を行っています。今後は、地域や学校、行政などと連携を図りながら、空き店舗を利用した拠点を整備するなどの活動を進めていく方針です。



▲看板を設置する大井守男隊長(左)と小椋一郎協議会会長(右)

ささゆりの里を全国へPR



▲嶺陽子さんと優勝した皆さん(コーラスの部(左)個人の部(右))

6月17日、サンホールくしはらで「ささゆりの里」観光大使・使節団選抜全国歌合戦の決勝大会が行われました。これは、串原を全国へPRしようと「ふるさと応援歌実行委員会」が企画。全国から514の応募の中、予選を勝ち抜いた方々が、約500人の観衆の前で自慢の歌声を披露しました。個人の部では、吉武雄美さん(豊田市)が優勝し、準優勝には鈴村侑子さん(長島町)が輝きました。またコーラスの部では、「コーラスひねり」(大阪府)が優勝しました。